



今月の一枚「京都府京都市 紅葉」

食欲の秋、行楽の秋、芸術の秋。

秋の景色も色鮮やかになってまいりました。

朝晩は日増しに肌寒くなってまいりましたが、体調など崩していませんか？インフルエンザには十分気を付けましょう。

INDEX

- 表紙「今月の一枚」
- 年賀状印刷始めました。
- 2013オリジナルエコカレンダー
- 大成印刷 制作部紹介 その2
- 「勤労感謝の日」に思うこと

今月のひとこと

はや年賀状の売り出しに、師走を間近に感じるようになりまして。寒さに向かう折柄、風邪などひかぬよう、近づく冬を元気に迎えましょう。

年賀状印刷

年賀状は"心を伝える"コミュニケーションツールです

年賀状印刷のご用意はお早めにどうぞ!!

お年玉付年賀はがきは2012年11月1日(木)に発売されました。

日本郵政グループは、「人の心が、年の初めに届く国。」をキャッチコピーとして、年賀状を書きながら普段なかなか会えない相手の方を想うことで、年賀状は"心を伝える"コミュニケーションツールとして心を繋いでいきたいとのことです。

商品一覧

- オリジナルデザイン年賀状印刷
- 既製デザイン年賀状 名入れ印刷
- *宛名印字
- *名刺入力作業

※こちらもセットで出来ます。

※年賀はがきは、すべて弊社でご用意させていただきます。お客様からのはがきの持ち込みは承っておりません。ご了承ください。



年賀状印刷

始めました

カレンダーのご用意は出来ていますか

2013オリジナルエコカレンダー

- すべて紙で出来ているので環境に優しいカレンダーです。
- 廃棄するときも、紙で出来ているので分別する手間がありません。



当社サンプルがございます、お気軽にご連絡ください。
詳しくは弊社担当者までお問い合わせください。

- ケースサイズ(mm) : W177×H132
- デザインスペース(mm) : 窓…W151×H99
- 本体サイズ(mm) : W175×H126
- 表紙…W151×H99
- 封筒(mm) : W152×H200
- カレンダーページ…W38×H90
- 無地封筒(mm) : W122×H170内

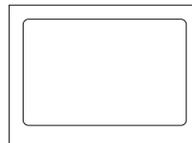
1部 ¥300 (消費税別) ※名入れはできません。

人にやさしい、カレンダーもつくります。



メディアユニバーサルデザイン
利用する方々の側に立ち、必要とされる情報を分かりやすく伝えることを目的とし、「デザイン」「文字の使い方」「色の使い方」などに様々な配慮や工夫を加えようという考え方式です。

カレンダーケース



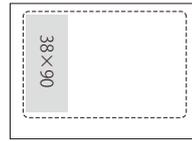
封筒



表紙



カレンダーページ



■ 部分にイラスト・写真・製品写真等を入れられます。

大成印刷 制作部紹介 その2

制作部は8人のメンバーが大成ビルの2階で毎日頑張っています。デザイン・組版DTP・出力が主な仕事です。今回はデザインを主に紹介させていただきます。

デザインの仕事とひとくちに言っても以外といろいろなことをしています。チラシ・カタログデザインはもちろんロゴマーク・版下作成・画像修正等々です。私たちデザイナーはいかにお客様の要望に沿ったデザインを提案出来るかが求められる仕事です。お客様の要望も様々なので常にアンテナをはってなければ時代に即したものを創りあげることができません。また、デザインを制作するうえでハード面でも時代が急速に進んでいるのでそれに対応していかなければなりません。現在、各会社様も広告費が削減されている事もあり、厳しい現状の中、日々デザインの仕事をしています。また、近頃多くなってきた現象ですとお客様ご自身がデザインされたものを持ってきて印刷するケースです。私たちデザイナーはそういった現象に打ち勝つべくプロのデザイナーとして一般の方がデザインしたものより当然良いデザインを提案し、やっぱりプロのデザイナーがデザインしたものは違うと思っただけのようなものを作っていかなければなりません。弊社チラシでも告知させていただいていますがプロのデザイナーによる「プロデザイン」をもっと活用していただければ幸いです。これからも大成印刷のデザインを宜しくお願い致します。



「クライアント様へ」
お願ひごほうび



「勤労感謝の日」に思うこと

勤労とは、心身を働かせて仕事に励むとあります。

「勤労をたつとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう」ことを趣旨としていますが、みなさんは健康で働けるよろこびを感じていますか。

みなさまの手に届いたときはもう勤労感謝の日は過ぎていますが、今回は国民の祝日の一つであるこの日についてお話させていただきます。勤労をとうとび、生産の豊かなことを祝い、国民が互いに感謝しあう日という趣旨により昭和23年(1948年)に制定されました。この日は、それ以前(明治6年、1873年以降)、新嘗祭*と呼ばれる祝日で、その年の新穀を天皇が宮中で神殿に供え、感謝すると共に、ご自身で食されるという儀式であったが、国内の神社もこれに習い、民間でも農耕儀礼の一つとして重要な祭事でした。昔は、十一月の卯の日*に行われていたが、太陽暦になってから23日となりました。新嘗祭のもう一つの大切な目的は、翌年に備え、大事な種子を取ることで儀式として行われました。大成印刷も翌年、3年先、5年先、10年先に備え、勤労できることへ感謝しつつ、常に新しい何かを創造し続ける事に邁進していきたいと思っています。

***新嘗祭**
日本では、古くから五穀の収穫を祝う風習がありました。その年の収穫物は国家としてもそれからの一年を養う大切な蓄えとなることから、大事な行事として飛鳥時代の皇極天皇の御代に始められたと伝えられています。一時中断されたが、元禄時代の東山天皇の在位中に復活し、1873年の太陽暦採用以前は旧暦の11月の2回目の卯の日に行われていました。1873年から1947年までは同名の祝祭日(休日)となっており、1948年以降も勤労感謝の日として国民の祝日になっています。新嘗祭自体は伊勢神宮及びそれに連なる神社の祭儀となり、伊勢神宮には天皇の勅使が遣わされて、大御饗(おおみけ:神が召し上がる食事)を供える形式となりました。現代では稀であるが、新嘗祭まで新米を口にしない風習も残っています。

***卯の日**
諸説あるようですが、卯は木性の陰で、木は火を生ず。火は発展の意があり、発展を生むという説。また卯(東)そのものにも発展の意味があるようです。

